

プレスリリース

2008年12月3日

報道関係者 各位

日本小児アレルギー学会
ハンドブック作成委員会

『家族と専門医が一緒に作った小児ぜんそくハンドブック 2008』 発刊

&

「ガイドラインシンポジウム」開催のご案内

日本小児アレルギー学会（理事長：森川昭廣）では、ぜんそくに関するあらゆる問題点を患者さんやその家族によく理解してもらうことが治療や管理を行う上で最も大切であるとの観点から、一般向けの診療ガイドラインの作成に継続的に取り組んできました。

昨年5月から世界でも類のない患者家族・支援者の意見を中心に据えた診療ガイドラインの作成を進め、このほど『家族と専門医が一緒に作った小児ぜんそくハンドブック 2008』（発行：協和企画）が発刊の運びとなりました。来る12月13日（土）・14日（日）に開催される第45回日本小児アレルギー学会（大会長：斎藤博久）の会場にて発表させていただきます。また会期中は、このハンドブックに関する特別プログラム「ガイドラインシンポジウム1」も予定されています。本日は、それらのご案内を合わせて申し上げます。

【本ハンドブックの特徴】

・患者家族・支援者4名が患者委員として作成に参加。

（本会では、改訂に際し患者家族が知りたい項目を収集し掲載していく方針を掲げ、一般向け診療ガイドラインの作成に関心のある患者家族・支援団体を公募し、4名の患者委員を選出しました）。

・作成過程では、患者委員が自らの経験を生かしながらハンドブックの企画・執筆に主体的に携わり、医師委員は専門医の知識を生かしながら医学的な観点から助言・監修する「協働」のかたちを重視。

（患者委員自らが診療ガイドラインの執筆に携わる事例は世界でも例がありません。また、患者委員に存分に力を発揮してもらうための支援体制として作成委員会内にコーディネーターチームを設置しました）。

・患者家族の経験に基づく効果的なセルフケアの情報を積極的に採用。

↓

本ハンドブックの普及によって期待されること

- ・ぜんそくの子どもたちのQOL（生活・人生の質）の向上
- ・患者家族と医療者のよりよいパートナーシップづくり

＜リリースのお問い合わせ先＞

ハンドブック作成委員会：群馬大学小児科 日本小児アレルギー学会事務局（金田）

TEL 027-220-8479 Eメール jaspaci@ped.dept.med.gunma-u.ac.jp

特別プログラム【ガイドラインシンポジウム1】のご案内

ガイドラインシンポジウム1 12月14日(日) 13:20~14:50 第1会場

「患者さんとその家族のためのぜんそくハンドブック 2008」解説

座長 西間 三馨 (国立病院機構福岡病院)

栗山真理子 (NPO 法人アレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」)

G1-1 ガイドラインの利用と普及における患者・患者会参加のインパクト

中山 健夫 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野)

G1-2 喘息の治療 -知識の普及と医師と患者の対話のために-

赤城 智美 (NPO 法人アトピizzi地球の子ネットワーク)

G1-3 食物アレルギーと小児喘息-ガイドラインおよびハンドブックの周知度・活用度-

武内 澄子 (食物アレルギーの子を持つ親の会)

G1-4 患者会の役割と責任 -現在と未来-

長岡 徹 (NPO 法人アレルギーを考える母の会)

G1-5 アレルギー疾患治療ガイドラインの医療経済への影響

長谷川敏彦 (日本医科大学医療管理学教室)

ガイドラインシンポジウム1では、作成に携わった4名の患者委員が登壇し、それぞれの視点から本ハンドブックの作成の意義と役割について話し合います。

さらに本会では、「診療ガイドラインの普及」においても患者家族・支援者の協力が不可欠であると考えており、作成に参加していただいた患者委員が所属する4つの患者団体と連携しながら進めていく所存です。ガイドラインシンポジウム1では、2009年に展開する「ハンドブック普及計画」につきましても発表する予定です。

報道関係者のみなさまには、本会の取り組みの趣旨と意義にご理解とご賛同をいただき、さまざまな機会にご紹介いただけますよう、何卒よろしく願いいたします。

＜本ハンドブックのお問い合わせ先＞

株式会社 協和企画 (鹿田) TEL 03-3571-3111 (代表)

Eメール genn@kk-kyowa.co.jp

＜ガイドラインシンポジウムのお問い合わせ先＞

国立成育医療センター総合診療部内 第45回日本小児アレルギー学会事務局

Eメール jspaci45@nch.go.jp

ホームページ <http://www.iscb.net/JSPACI/m-45kai.html>

日本小児アレルギー学会

患者会代表らによる『小児ぜんそくハンドブック 2008』作成委員会

医師委員・患者委員 名簿一覧

○ 医師メンバー（五十音順）

宇理須 厚 雄	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
小田嶋 博	国立病院機構 福岡病院
西 間 三 馨	国立病院機構 福岡病院（委員長）
西牟田 敏 之	国立病院機構 下志津病院（副委員長）
望 月 博 之	群馬大学大学院医学系研究科小児科
森 川 昭 廣	群馬大学／希望の家療育病院附属北関東アレルギー研究所

○ 患者・支援者委員メンバー（五十音順）

赤 城 智 美	NPO 法人アトピッ子地球の子ネットワーク 専務理事
栗 山 真理子	NPO 法人アレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」 専務理事
武 内 澄 子	食物アレルギーの子を持つ親の会 代表
長 岡 徹	NPO 法人アレルギーを考える母の会 事務局長